

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	シャシ構造		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年後期	・ 水曜日	・ 1・2時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる二輪自動車シャシを構成する各装置についての講義を実施する。		
授業の目的	二輪自動車のシャシ関連における各装置の部品名称、構造・機能、及びそれらの装置の整備における基本的な内容について講義する。		
テキスト	①三級二輪自動車（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②二級二輪自動車（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	ブレーキ装置	構造復習、及び整備に関して解説する。 ブレーキフルードの特性について解説する。	①P.90～98 P.145～148
第2回	フロントサスペンション	フロントサスペンションの部品名称、構造、作動について復習。整備及びサスペンションフルードについて解説する。	①P.74～78
第3回	ハンドル回転軸	ハンドル回転軸の部品名称、構造、及びフロント・ホイール・アライメントについて解説する。	①P.79～80 P.88～89
第4回	リヤサスペンション	リヤサスペンションの種類、構造、及び整備について解説する。	①P.77～78 ②P.69～74
第5回	タイヤ・チューブとホイール	タイヤ、ホイールの種類、構造、及び交換作業について解説する。	①P.81～87 P.148
第6回	クラッチ	部品名称、構造、作動の復習解説する。 練習問題を実施し、ここまでの総復習をする。	①P.60～65 P.149
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	①P.60～98抜粋 ②P.69～74
第7回	クラッチ	クラッチの整備について解説する。	①P.60～65 P.149
第8回	キック始動装置	プライマリ・キック式始動装置について解説する。	①P.73
第9回	フレーム シャシまとめ	フレームの種類、特徴、及び車体のバランス等について解説する。	①P.99～100
第10回	総合復習	国家試験過去問題のシャシ部門を実施し解説する。	①P.59～102 ②P.61～95
第11回	総合復習	国家試験過去問題のシャシ部門を実施し解説する。	①P.59～102 ②P.61～95

第 12 回	総合復習	国家試験過去問題のシャシ部門を実施し解説する。	①P.59～102 ②P.61～95
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	①P.59～102 ②P.61～95
到達目標	二輪のシャシ関連において、各装置の部品名称、構造・機能、作動と、整備における基本的な内容を習得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		